

東映アニメーション株式会社

2022年3月期(2021/4~2022/3)

『ドラゴンボール超 スーパーヒーロー』
2022年6月11日(土) 公開予定



ドラゴンボール超
DRAGON BALL 超
スーパーヒーロー
SUPER HERO

6.11 SAT
ROADSHOW

原作・脚本・キャラクターデザイン

鳥山明

制作：東映アニメーション
制作総指揮：久保田 賢 脚本：佐藤雅紀 原案：鳥江俊人 監督：永井繁実子 CGプロデューサー：野田 毅
プロデューサー：野沢雅子 企画：野澤雅子 久川 敏 堀川ひろよ 田中真司 草尾 毅 樋口祐子
演出：入野自由 脚本：神谷浩史 宮野真守 ホルケノオ 竹内良太
制作：2022ドラゴンボール超制作委員会 ©バード・スタジオ・集英社 ©2022ドラゴンボール超制作委員会

2022dbs.com

歌声、赤髪。



ワンピース フィルム レッド
ONE PIECE FILM

RED



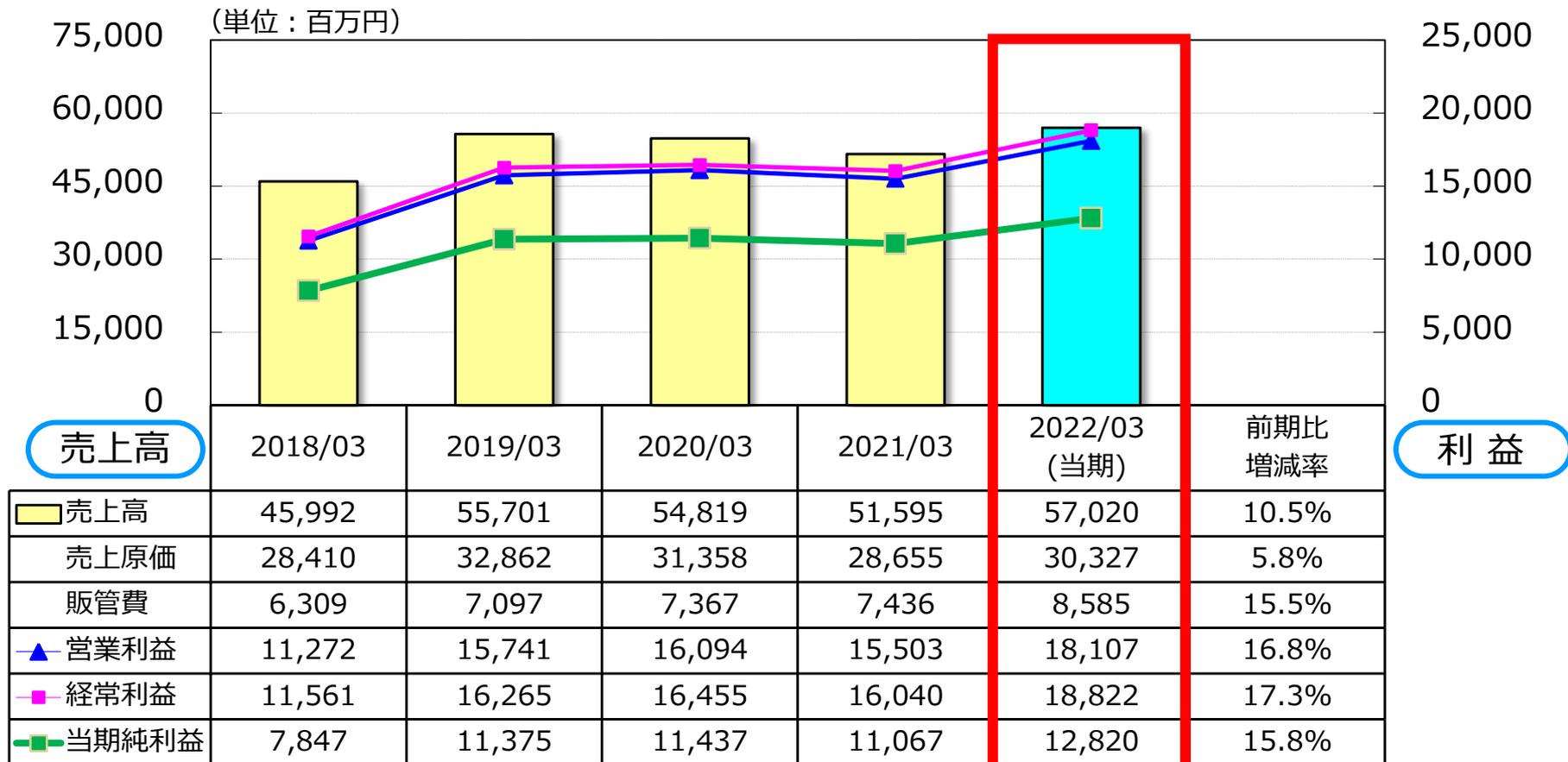
8.6
ROADSHOW

『ONE PIECE FILM RED』
2022年8月6日(土) 公開予定

原作：尾田栄一郎
脚本：黒岩 勉

2022年3月期決算(連結)

- 売上高及び各利益は、過去最高を記録
- 国内外で映像配信権販売が大きく伸長、また収益性の高い海外のゲーム化権・商品化権販売も好調に稼働
- 海外事業が拡大し、海外売上比率は通期過去最高の62%を記録



2022年3月期 セグメント別内訳(連結)

(百万円)		2021年3月期	2022年3月期	増減率
映像製作・販売事業	売上高	19,766	20,769	5.1%
	セグメント利益	4,798	5,753	19.9%
著作権事業	売上高	28,997	32,995	13.8%
	セグメント利益	14,257	15,957	11.9%
商品販売事業	売上高	2,466	2,231	△9.5%
	セグメント利益	△183	△189	-
その他事業	売上高	446	1,104	147.2%
	セグメント利益	△191	△253	-
連結	売上高	51,595	57,020	10.5%
	営業利益	15,503	18,107	16.8%

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

2022年3月期 セグメント別分析①(映像製作・販売)

(百万円)	21/03 実績	22/03 実績
売上全体	51,595	57,020
映像製作・販売事業	19,766	20,769
劇場アニメ	1,010	452
テレビアニメ	2,720	3,302
コンテンツ	553	402
海外映像	12,664	12,747
その他	2,815	3,864
著作権事業	28,997	32,995
国内著作権	13,207	11,958
海外著作権	15,790	21,037
商品販売事業	2,466	2,231
その他事業	446	1,104

映像製作・販売事業 (👉 21/3期比5.1%増)

- 「劇場アニメ」は、劇場公開本数が減ったことやコロナ禍による影響から、大幅な減収
- 「テレビアニメ」は、放映本数が増えたこと等により、大幅な増収
- 「コンテンツ」は、21/3期好調に稼働した劇場版「ONE PIECE STAMPEDE」のブルーレイ・DVDの反動減により、大幅な減収
- 「海外映像」は、アジア向け映像配信権販売が好調に稼働したものの、21/3期にあったサウジアラビア向け劇場作品納品の反動減等から、ほぼ横ばい
- 「その他」は、国内の映像配信権販売が好調に稼働したことから、大幅な増収

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

2022年3月期 セグメント別分析②(著作権・商品・その他)

(百万円)	21/03 実績	22/03 実績
売上全体	51,595	57,020
映像製作・販売事業	19,766	20,769
劇場アニメ	1,010	452
テレビアニメ	2,720	3,302
コンテンツ	553	402
海外映像	12,664	12,747
その他	2,815	3,864
著作権事業	28,997	32,995
国内著作権	13,207	11,958
海外著作権	15,790	21,037
商品販売事業	2,466	2,231
その他事業	446	1,104

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

著作権事業 (↑ 21/3期比13.8%増)

- ・「国内著作権」は、「ワンピース」等の商品化権販売が好調に稼働したものの、「ドラゴンボール」シリーズのゲーム化権販売が21/3期の勢いには至らなかったこと等から、大幅な減収
- ・「海外著作権」は、「ドラゴンボール」シリーズや「ワンピース」のゲーム化権販売に加え、「ドラゴンボール」シリーズや「ワンピース」、「デジモンアドベンチャー」シリーズの商品化権販売が好調に稼働したことから、大幅な増収

商品販売事業 (↓ 21/3期比9.5%減)

- ・「ワールドトリガー」のショップ事業が好調に稼働したものの、コロナ禍の影響の長期化に加え、21/3期に稼働した「美少女戦士セーラームーンEternal」のタイアップ・キャンペーン向けノベルティグッズ等の販売の反動減等から、減収

その他事業 (↑ 21/3期比147.2%増)

- ・「プリキュア」シリーズや「ワールドトリガー」の催事が好調に稼働し大幅な増収となったものの、コロナ禍の影響の長期化による複数の催事イベントの規模縮小により、全体の収益性は低下

2022年3月期 決算総括

(百万円)	21/03 実績	22/03 実績	増減	増減率
売上高	51,595	57,020	5,424	10.5%
売上原価	28,655	30,327	1,671	5.8%
売上総利益	22,939	26,693	3,753	16.4%
販管費	7,436	8,585	1,149	15.5%
営業利益	15,503	18,107	2,604	16.8%
営業外収益	809	859	50	6.2%
営業外費用	271	144	△127	△46.9%
経常利益	16,040	18,822	2,781	17.3%
特別損益	△46	△203	△156	-
税引前当期純利益	15,994	18,619	2,625	16.4%
法人税等	5,009	5,672	662	13.2%
法人税等調整額	△83	126	210	-
少数株主利益	-	-	-	-
当期純利益	11,067	12,820	1,752	15.8%

売上高

- 増収幅が大きい事業
 - ① 海外版權[5,247]⇒ ② 映像製作その他[1,048] ⇒ ③ イベント[657]
- 減収幅が大きい事業
 - ① 国内版權[△1,249]⇒ ② 劇場[△558] ⇒ ③ 商品販売[△235]

原価・売上総利益

- 売上総利益率：46.8%(21/3期:44.5%)
利益率の高い海外事業や配信事業の売上比率が高まったことで、全体の売上総利益率も改善

販管費

- 販管費 [+1,149]
 - ① 広告宣伝費[+423]
(21/3期:520 22/3期:943)
 - ② 人件費[+297]
(21/3期:2,048 22/3期:2,345)

営業外損益

- 営業外収益 [+50]
受取配当金[+350]
- 営業外費用 [△127]
雑支出 [△100]

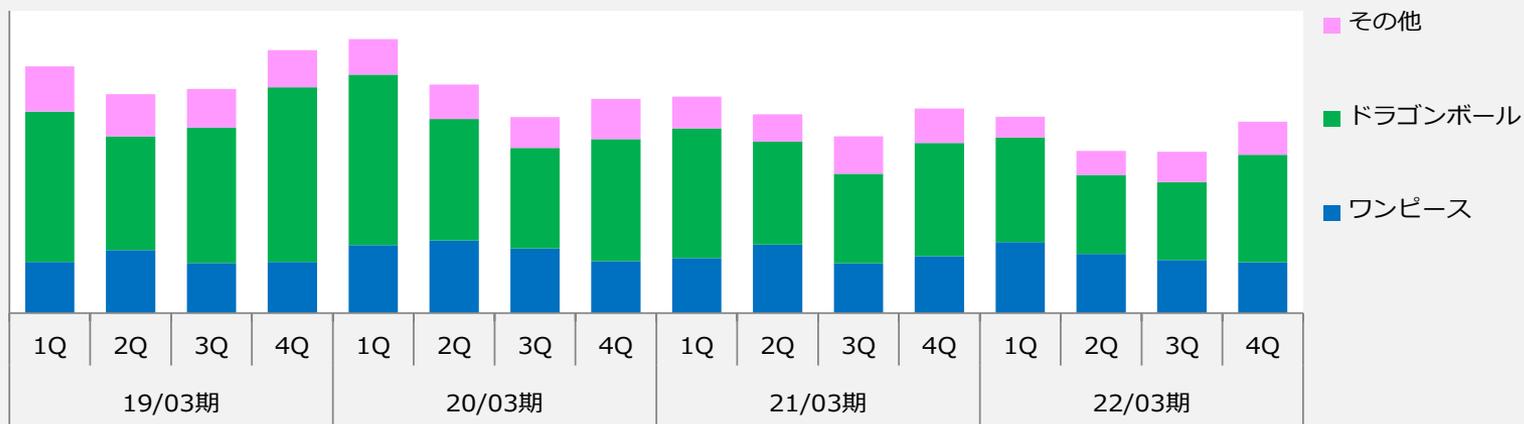
特別損益

- 特別損失 [204]
投資有価証券評価損

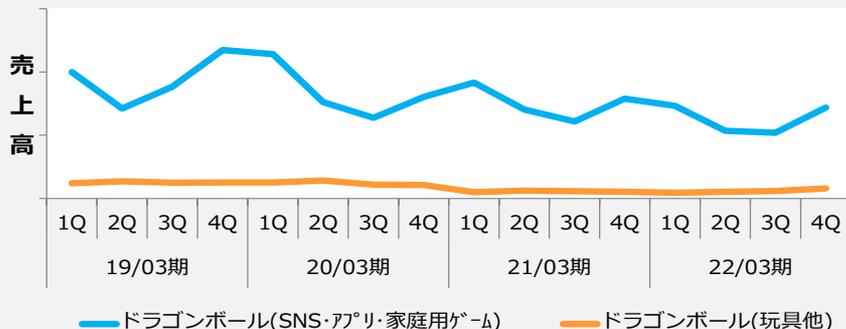
主要作品の国内版權事業の状況

- 「ドラゴンボール」はゲーム化権が21/3期の勢いには至らず
- 「ワンピース」は商品化権が好調で若干増
- 全体としてゲームの勢いが鈍化し、21/3期比減収

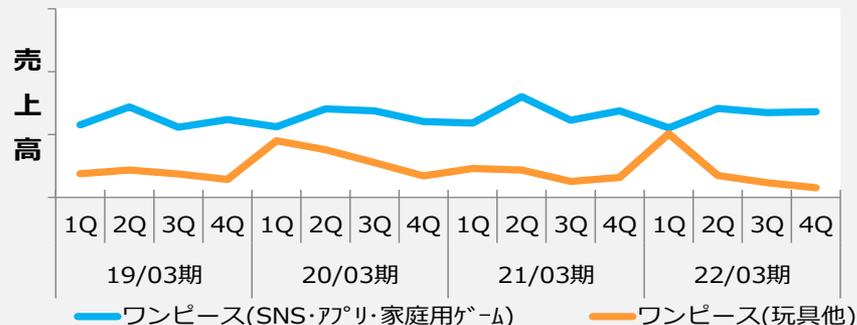
国内版權売上高の推移



ドラゴンボール国内版權売上高の推移



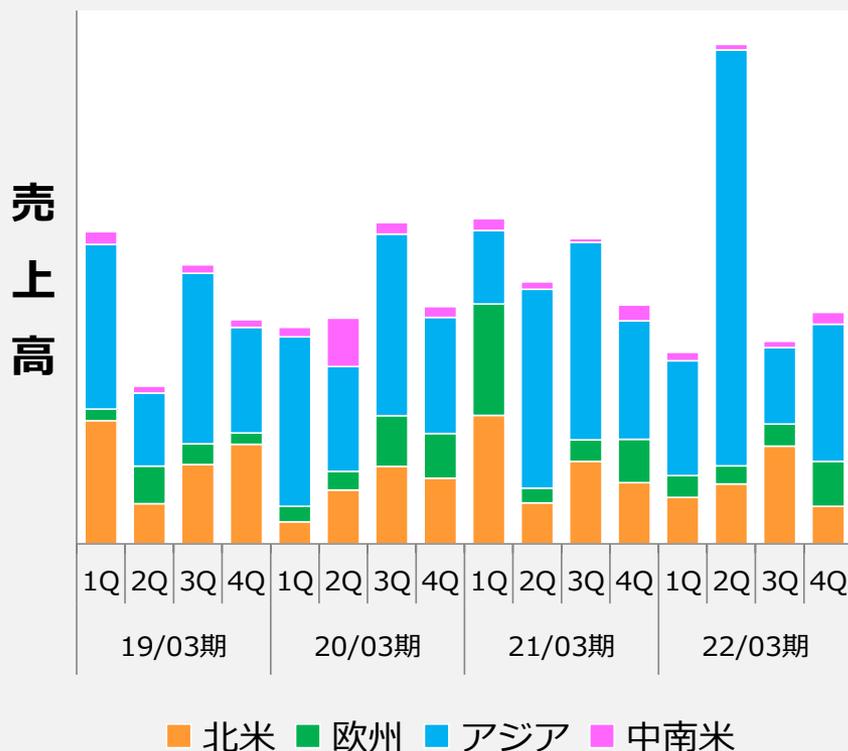
ワンピース 国内版權売上高の推移



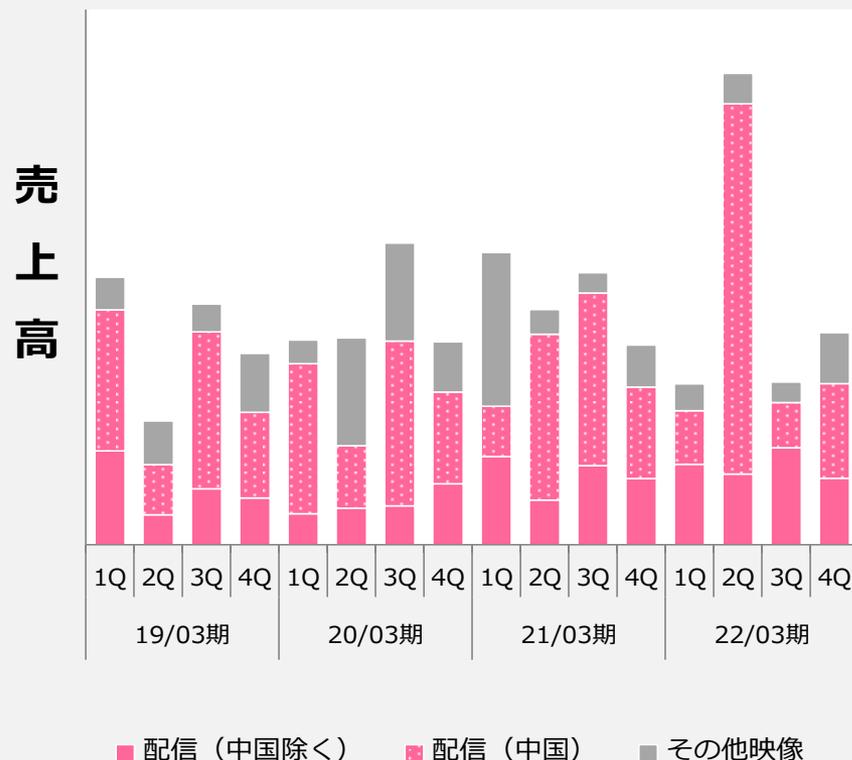
海外映像事業の状況

- 中国をはじめとしたアジアで映像配信権販売が好調に稼働、21/3期にあったサウジアラビア向け劇場作品納品の反動減を補完し、全体としては概ね横這い
- 東南アジアで新規配信契約が伸張
- 計画レート比で円安に推移したことにより、利益にも貢献

海外映像 売上高の推移



事業内訳

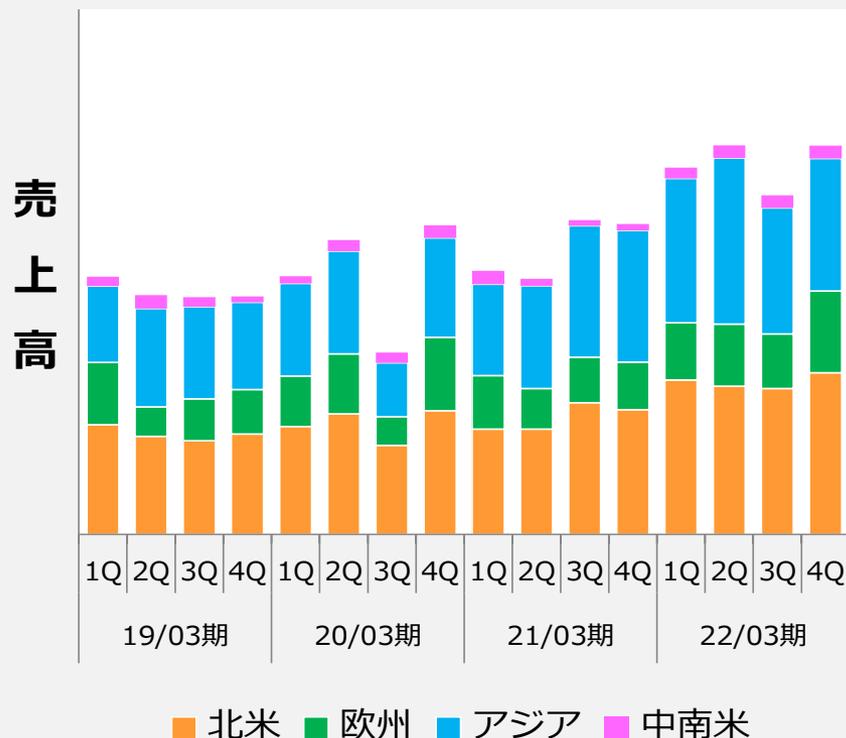


※子会社連結決算の都合上、左のグラフは連結、右のグラフは当社単体の数値を使用しております。

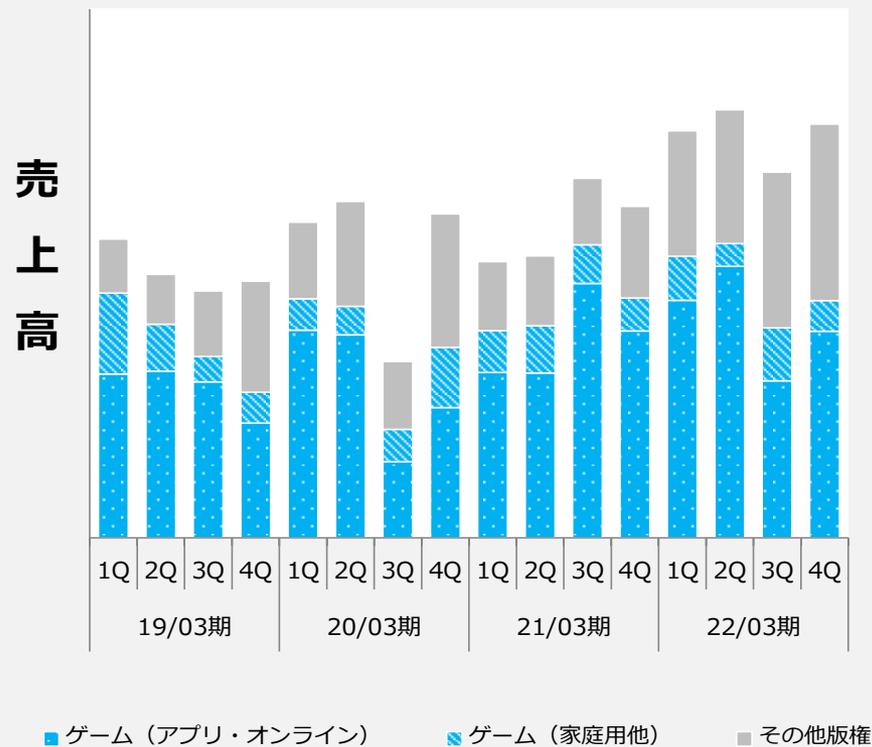
海外版權事業の状況

- 既存アプリゲームの好調に加え商品化権販売が伸張し、通期過去最高売上を達成
- 北米で「ドラゴンボール」シリーズや「デジモンアドベンチャー」シリーズ、中国では「ワンピース」の商品化権販売が好調に稼働
- 4Qにも複数のアプリゲームの新規・更新MGを計上

海外版權 売上高の推移



事業内訳



※子会社連結決算の都合上、左のグラフは連結、右のグラフは当社単体の数値を使用しております。

2023年3月期 業績予想(連結)

	22年3月期実績	23年3月期予想	増減率	(ご参考) 22年3月期 期初予想
売上高	57,020	70,000	22.8%	51,000
販管費	8,585	11,700	36.3%	9,000
営業利益	18,107	18,300	1.1%	11,000
経常利益	18,822	18,900	0.4%	11,300
当期純利益	12,820	13,500	5.3%	7,600

【2023年3月期 業績予想の根拠】

- 複数の大型作品の劇場公開を予定、各事業への相乗効果で過去最高の売上・利益更新を見込む
- 劇場作品関連の製作原価、並びに広告宣伝費は増加
- 各利益率は前年度比では低下する見込み

2023年3月期 セグメント別予想

	22/03 実績	23/03 予想
売上全体	57,020	70,000
映像製作・販売事業	20,769	30,100
劇場アニメ	452	7,300
テレビアニメ	3,302	2,700
コンテンツ	402	300
海外映像	12,747	16,700
その他	3,864	3,100
著作権事業	32,995	34,400
国内著作権	11,958	11,900
海外著作権	21,037	22,500
商品販売事業	2,231	3,900
その他事業	1,104	1,600

映像製作・販売事業（↑ 22/3期比40.9%増）

- ・「劇場アニメ」は、複数の大型作品公開により大幅増収の見込み
- ・「テレビアニメ」は、放映本数減少のため減収を予想
- ・「コンテンツ」は、市場縮小に伴い減収を予想
- ・「海外映像」は、大型映画作品の公開に伴う上映権販売や配信権販売の好調を見込み、大幅な増収を予想
- ・「その他」は、自社企画アプリゲームの展開拡大を見込むものの、22/3期に過去最高を記録した国内向け配信権販売の反動減も予想され、減収の見込み

著作権事業（↗ 22/3期比4.3%増）

- ・「国内著作権」は、映画関連のタイアップ・キャンペーンでの収益拡大を予想するものの、既存のアプリゲーム化権販売の見通しは厳しく、ほぼ横ばい見込み
- ・「海外著作権」は、過去最高を記録した22/3期のハードルは高いものの、大型劇場作品の関連事業や円安効果から大幅な増収を予想

商品販売事業（↑ 22/3期比74.8%増）

- ・大型作品の劇場公開効果を見込み、大幅な増収を予想

その他事業（↑ 22/3期比44.8%増）

- ・催事の事業環境回復を見込み、増収を予想

中長期の成長に向けた取り組み（国内・海外市場規模）

グローバル
アニメ市場規模
30.7兆円^{注1}

日本アニメ産業市場^{注2}
(2020年)

日本アニメ制作市場^{注3}
(2020年)

2.4兆円



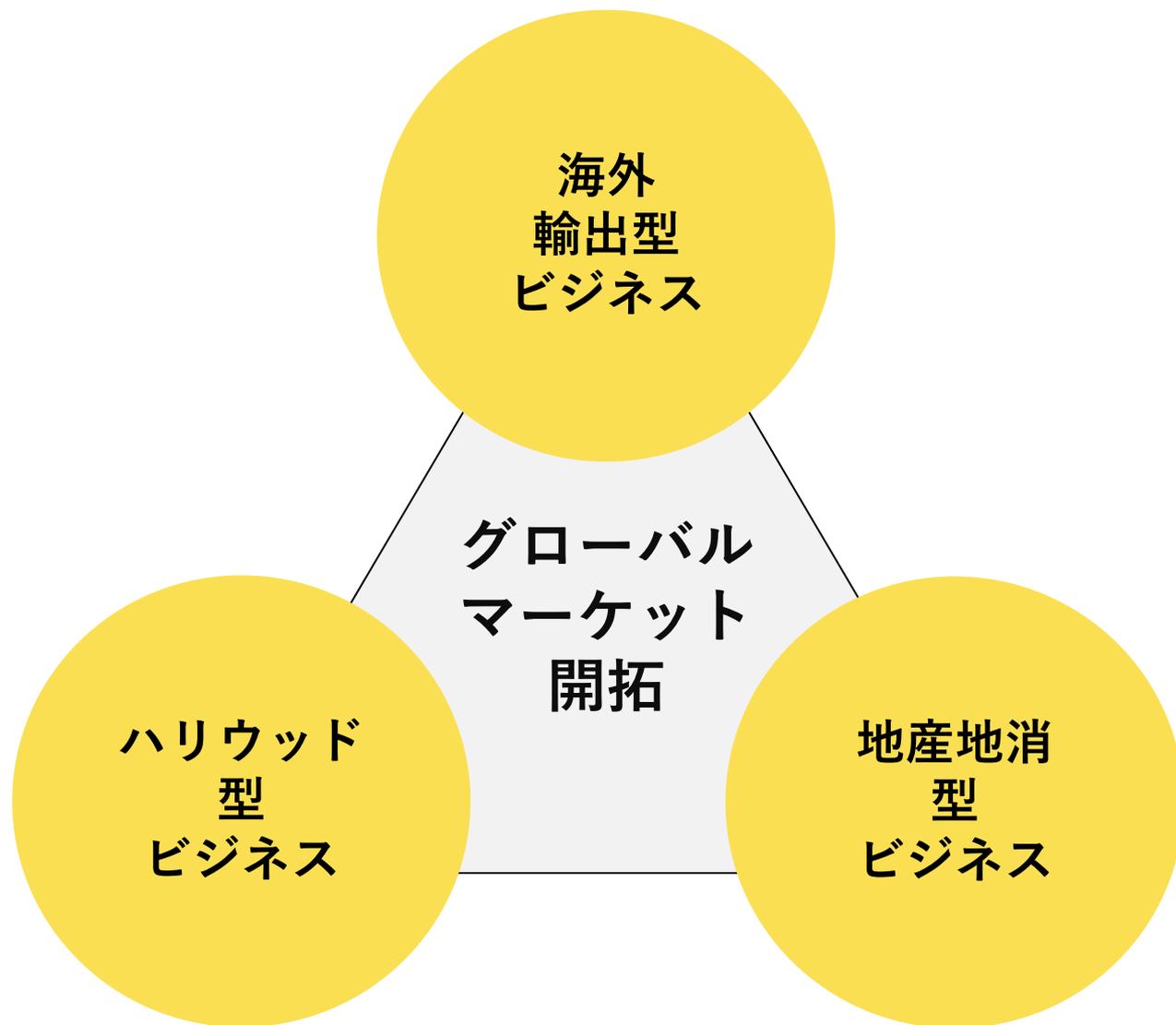
売上高

570億円 (シェア：20%)
(2022年3月末)

2,744
億円

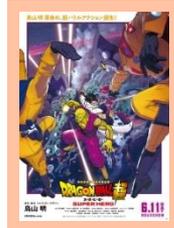
注1：Statista『Animation market size worldwide』（2020年度予想値は\$270bn 為替レートは1米ドル=113.71円を使用）注2：日本動画協会『アニメ産業レポート2021』ユーザーが支払った金額を推定した広義のアニメ産業市場規模 注3：日本動画協会『アニメ産業レポート2021』商業アニメ制作企業の売上を推定した狭義のアニメ市場

中長期の成長に向けた取り組み (海外市場開拓の三本柱)



中長期の成長に向けた取り組み（中長期ポートフォリオ）

～2025年度（26/3期）



10本程度

- ・ハリウッド向け大型企画
- ・リバイバル大型企画



海外市場

東映アニメーション

知見共有

注力市場

10本以上

- ・ハリウッド向け大型企画
- ・TV/劇場 企画
- ・Youtube企画
- ・ハイエンドCG企画



原作

市場拡大

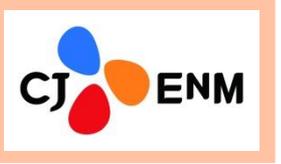


（聖闘士星矢）



市場拡大

オリジナル



10本程度

- ・ハイターゲット向けTV/劇場/配信企画
- ・キッズ向けTV/劇場企画



知見共有

5本程度

- ・キッズ向けTV企画
- ・ハイターゲット向け企画
- ・ハイエンドCG企画



国内市場

中長期の成長に向けた取り組み（作品展開）

IPの創出



「映画おしりたんてい
シリアーティ」
2022年3月18日(金)
より公開中



「ミラクユラス
レディバグ&シャノワール」
2022年4月2日(土)
より地上波初放映中



「KAIJU DECODE
怪獣デコード」
プロジェクト第1弾として
2021年に短編CGアニメーション
が配信開始



実写ハリウッド映画版
「Knights of the Zodiac
(聖闘士星矢)」
が公開予定

NO
IMAGE

「アサティール」
サウジアラビアとの
共同制作TVシリーズ
シーズン2制作決定



「The Monkey Prince(仮)」
日中米共同合作作品
グローバル市場を見据えた
ファミリー向けアニメーション

IPの育成



「デジモン
ゴーストゲーム」
2021年10月3日(日)
より放映中



「デリシャスパーティ
♡プリキュア」
2022年2月6日(日)
より放映中



「ドラゴンボール超
スーパーヒーロー」
2022年6月11日(土)
公開予定



「ONE PIECE
FILM RED」
2022年8月6日(土)
公開予定



「SLAM DUNK」
2022年秋公開予定



「悪魔くん」
2023年
Netflixシリーズとして
全世界独占配信予定



「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」
2023年秋
アニメーション映画
公開予定

基盤

- IP増強
 - ・IPを軸とした組織へ改編
 - ・新規IP創出数の増強とIPライフサイクルの長期化
- 事業拡張・地域展開拡大
 - ・ハリウッド型ビジネスへの参入
 - ・上海にコンテンツ企画製作会社設立 - 中国及びアジア市場開拓を推進
- 製作能力の進化
 - ・IP別に目的特化した製作体制構築
 - ・2D/3D先端技術の統合
 - ・製作工程におけるAI活用PJ推進

展開スケジュール

展開スケジュール

映像製作・販売事業 著作権事業

商品販売事業 その他事業

22/03期 4Q	映画「銀河鉄道999」ドルビーシネマ版公開 [1/14]
	「デリシャスパーティ♡プリキュア」放映開始 [2/6]
	「映画おしりたんてい シリアーティ」公開 [3/18]
23/03期 1Q	「ミラキュラス レディバグ&シャノワール」地上波放映開始 [4/2]
	「銀河鉄道999 THE MUSICAL」開催 [4/8-18]
	当社通販サイトが「東映アニメーションオフィシャルストア」としてリニューアルオープン [4/14]
	映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」公開予定 [6/11]
	「ワンピース」トレーディングカード第1弾発売予定 [2022年7月]
	PS4/Switch「デジモンサヴァイブ」発売予定 [2022年7月]
	映画「ONE PIECE FILM RED」公開予定 [8/6]
	「SLAM DUNK」アニメーション映画公開予定 [2022年秋]
	PS5・4/Xbox/STEAM「ONE PIECE ODYSSEY」発売予定 [2022年]
	PS4/Switch/Xbox One/STEAM「ドラゴンボール ザ ブレイカーズ」発売予定 [2022年]
23/03期 2Q以降	Switch「滄海天記」発売予定 [2022年]
	映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」公開予定 [2023年秋]
	「悪魔くん」Netflixシリーズとして全世界独占配信予定 [2023年]
	実写ハリウッド映画「Knights of the Zodiac (聖闘士星矢)」公開予定 [時期未定]
	国際合作アニメーション映画「The Monkey Prince (仮)」公開予定 [時期未定]
	家庭用ゲーム「インフィニティ スラッシュ ドラゴンクエスト ダイの大冒険」発売予定 [時期未定]

トピック

今期展開の映像作品の状況

- TV「ミラキュラス レディバグ&シャノワール」
-2010年代からフランスを中心に展開する3DCGのTVアニメーション
-2019年から当社主導で国内展開を本格スタート
-衛星放送等を経て、2022年4月から地上波初放映開始

新作映像展開

- 映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」
-2022年6月11日(土) 公開予定
- 映画「ONE PIECE FILM RED」
-2022年8月6日(土) 公開予定
- 映画「SLAM DUNK」
-2022年秋 公開予定
- 映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」
-TV「ゲゲゲの鬼太郎」第6期の映画化が決定
-2023年秋 公開予定
- 配信「悪魔くん」
-2023年 Netflixシリーズとして全世界独占配信予定

ゲーム展開

- 中国向けアプリゲーム「デジモン新世紀」
-2021年10月21日(木)リリース
-配信開始月に無料ランキングでストア1位を獲得。
その後もセールスは堅調に推移。

配当について

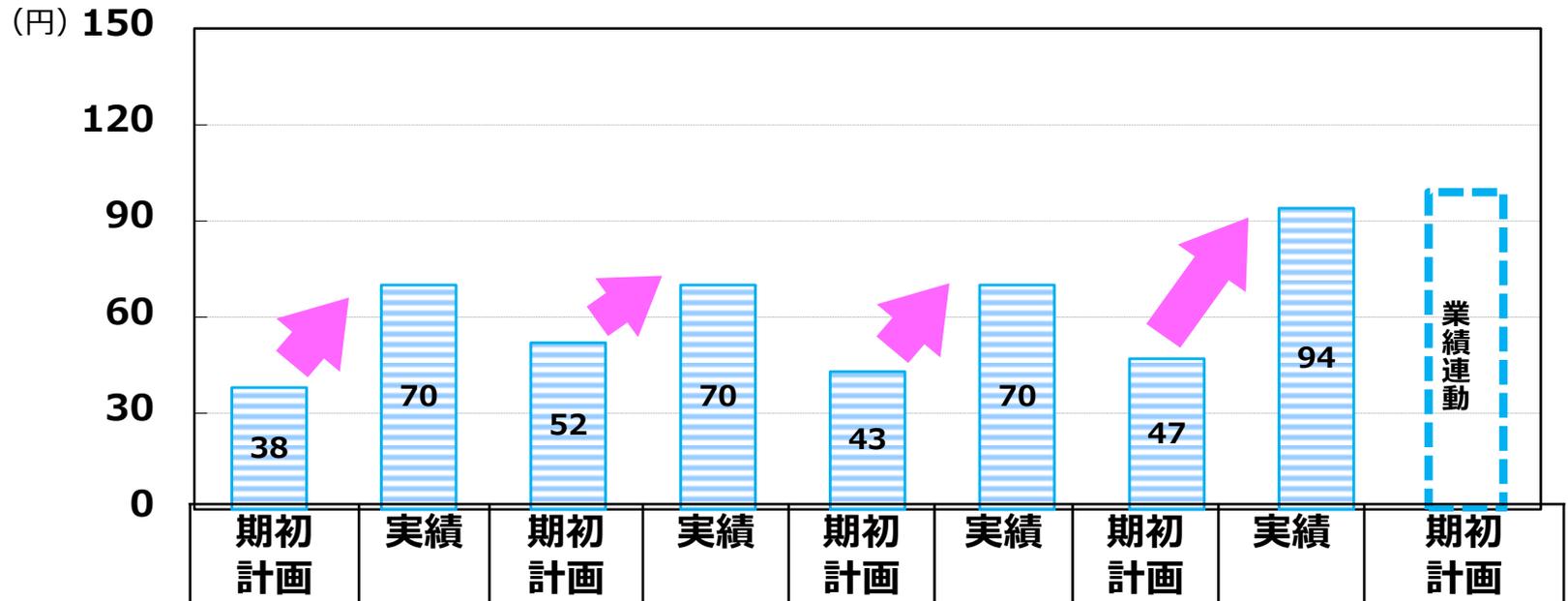
期末配当

2022年3月期

1株あたり 94円

2023年3月期

連結業績に応じ総合的に勘案して決定



業績連動

年度	19/03	20/03	21/03	22/03	23/03
※1株当たり配当金	70円	70円	70円	94円	99円(※1)
配当性向	25.2%	25.0%	25.9%	30.0%	-

※1 期初の業績予想に基づき、今期と同程度の配当性向の場合

ご参考①(放映・配信中作品)



日曜あさ8:30～
ABCテレビ・テレビ朝日系列



日曜あさ9:00～
フジテレビほか



日曜あさ9:30～
フジテレビほか



火曜ゆうがた6:45～
NHK Eテレ



土曜あさ7:30～
テレビ東京系列

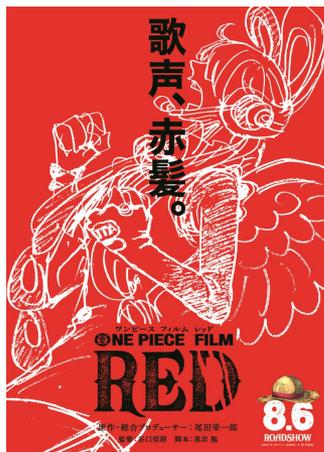


土曜あさ9:30～
テレビ東京系列

ご参考②(2022年3月期～予定作品)



『ドラゴンボール超 スーパーヒーロー』
2022年6月11日(土) 公開予定



『ONE PIECE FILM RED』
2022年8月6日(土) 公開予定



『SLAM DUNK スラムダンク』
2022年秋 公開予定



『悪魔くん』
2023年 Netflixにて全世界独占配信予定



『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』
2023年秋 劇場公開予定



TOEI ANIMATION

Since 1956

【見通しに関する注意事項】

**当資料に記載されている内容は、現在入手している
情報に基づく判断および仮定に基づいており、
記載された将来の計画数値、戦略、施策の実現を
確約したり、保証するものではありません。**